



※ゆきあそび※ 誰が雪だるまに鼻を付けるのか・・・?

2回目に雪が降った時のことです。畑の方にはフワフワとした雪が積もっていました。小さな玉を転がして行くと、どんどん大きな玉になり、夢中になって雪だるまを作り始めました。目や鼻はどうしようかという話しになり「オラフにしたい」「鼻は人参がいい」と意見があがり、園長先生に相談することになりました。園長先生を探しに行く時の子ども達は、目を輝かせワクワクとしていて、とても印象的でした。「雪だるまの鼻を作りたいので人参が欲しいです」と聞くと、すぐに調理の先生に話をしてくれました。無事に人参の先っぽをもらうことが出来ると喜びの気持ちでいっぱいでした。しかしその瞬間から問題が勃発したのです!!「私がやる」「僕がやる」と、誰が雪だるまに鼻を付けるのかという展開に。みんなが雪だるまの周りに集まり、しばらく打開策がないままでした。最後は担任が案を出し「一人ずつ順番に、どこに鼻を置くのがいいかやってみよう」と言うとうん!いいね」となり、順番に人参を置いてみることにしました。角度もあり定着させるのは難しい様子でしたが、実際に本物の人参を手にして満足の子も達でした。石や枝を使って目や手、そしてボタンも付けて見事に完成しました!!まだ自分達で解決するのは難しかったけれど、それだけ「自分もやってみたい」という強い気持ちが生まれていたことも嬉しく感じました。すぐに溶けてなくなってしまいましたが、空からの特別なプレゼントは心に残る思い出になりました。



バケツのお湯に手を入れて
あったかーい♡



☆カメラマン☆

お別れ会当日。年長さんの将来の夢のファッションショーでカメラマン役として活躍しました!ランウェイを歩いてきた年長さんにカメラを向け、全員が無言でシャッターを押すという、シュールな姿がなんとも可愛かったです♡



☺一年間ありがとうございました☺

早いもので、幼児クラスがスタートして一年が経とうとしています。個から集団へ移行する時期で、いつの間にか友達の名前を自然に呼び合い、クラスとしてのまとまりを感じる日々です。とにかく仲が良く、よく笑って、楽しい時間を共有してきました。時にはケンカをすることもあったけれど、すぐに仲直りが出来て、笑顔に変えられるパワーを持っています。一人ひとりの胸の所にある扉を開くと、ハートがあります。そのハートを大切に育ててきました。自分の気持ちを大切にしながら、色々なことに挑戦し、そして失敗もしながら、これからも大きく光り輝くよう祈っています。

一年間、ご理解、ご協力ありがとうございました♡